

議案 第2号

平成24年度

事業報告書

社会福祉法人 標津福社会

社会福祉法人 標津福社会 事業報告

I. 収支決算状況

平成24年度の介護報酬改正により、多床室の報酬単価が2.82%引き下げられた事による試算として、年度当初4,700千円程度の減収という厳しい決算が見込まれておりましたが、3月31日現在決算の収支差額は1,126千円と剰余金が発生する結果となりました。

①下半期におけるベッド稼働率が前年対比2.5%増の95.5%

↑入院患者数の減（看取り希望者の増）

②おむつ外しへの取り組みにより前年対比30%の減 △1,160千円

③職員の資質向上（職員間連携・意識の共有化・ケアの統一性）

④コスト低減（経費）意識の定着

法人全体的には黒字決算となりましたが、とりわけデイサービス事業においては、前年対比5%減の70.0%に留まっています。

①町内の要介護認定者が増えていないため、新規利用者が獲得出来ない。

②利用者の病気入院やショートステイの利用者が増えた。

③他の施設のサービスを利用している。

訪問入浴介護事業については、利用者の減少や入浴車両の老朽化などにより、平成24年度末をもって町との協議の上廃止と致しました。

廃止後においても利用者へのサービスを低下させる事なく、ケアマネージャーとの連携のもと、特養の日帰り入浴対応などによりサービスを提供させて頂いています。

II. 施設営繕

施設については、開設以来20年が経過しており、経年による修繕や機器の更新を、町からの補助を受け計画的に実施しております。

①給湯系膨張タンク交換工事 2,100千円

②厨房機器更新工事 1,680千円

③ナースコール更新工事 6,720千円

④A棟トイレ改修工事 5,806千円

平成25年度は、床材劣化による床改修工事・雨漏りによるトップライト改修工事を実施します。

III. おわりに

平成27年度には、次の介護報酬単価が示されますが、現段階では多床室での上向き改定は望めません。国で定める介護保険制度の方向性が、施設から在宅への移行を促す地域包括ケアシステムに変わった事から、今後特養には、高機能性が求められ、介護者が最後に安住する「終の棲家」としての生活の場から自立支援（その人に合った生活）と看取りまでの高品質のサービス提供が求められます。

こうした事から、介護に携わる職員意識の専門性への資質向上やスキルアップを図るた

め、引き続き、O J T（施設内研修）・O F F－J T（施設外研修）や先進的施設への視察研修などを充実させてまいります。

また、標津町の福祉政策との整合性を図る事が大事であり、今後においても施設の在り方等を共に協議し、最良の介護福祉の方向性を見い出して行きたいと思っております。

2 特別養護老人ホーム標津はまなす苑

【 1.入苑の状況 】

	入苑者数（月末）			満床時 ベット数	稼働 ベット数	稼働率 （%）
	男性	女性	合計			
4月	11	45	56	1,740	1,603	92.1
5月	11	46	57	1,798	1,668	92.8
6月	11	46	57	1,740	1,680	96.6
7月	9	45	54	1,798	1,731	96.3
8月	10	47	57	1,798	1,642	91.3
9月	10	47	57	1,740	1,606	92.3
10月	10	47	57	1,798	1,714	95.3
11月	10	47	57	1,740	1,682	96.7
12月	11	45	56	1,798	1,738	96.7
1月	12	45	57	1,798	1,740	96.8
2月	12	46	58	1,624	1,624	100.0
3月	12	45	57	1,798	1,779	98.9
合計	129	551	680	21,170	20,207	
平均	11	46	57	1,764	1,684	95.5
前年平均	12	44	56	1,769	1,644	93.0

※ H23はうるう年

- ・前年(H23)に比べ、6月位からベット稼働率が上昇した理由として、①施設での看取りを希望する方が増えた事で病院入院者が前年より減った。また、②日々の生活状況の観察やケアの強化により、比較的早期に体調の変化に合わせた適切なケアが行えた。各フロア毎にケアプランに沿ったサービス提供のなかで、③各職員間の連携、意識の共有、ケアの統一性の方向が上手く入苑者に向かうようになってきた事によるものと思われます。

但し、看取りにより施設の看護職や介護職の業務負担が増えている状況もあり、H25年度に看護師を1名増員し対応しております。

その他、長期入院者(約3ヵ月)や死亡者の退苑手続きから入苑待機順位上位者への入苑手続きが比較的スムーズに行えた事も要因の一つと思われる為、今後もスムーズな手続きを行っていきます。

【2. 入院状況・入退所状況】

	入院状況			入退所状況	
	延入院日数	実人数	平均(月)	入所(入苑)	退所(退苑)
4月	90日	3	3.0	0	1
5月	77日	6	2.5	2	1
6月	57日	2	1.9	1	1
7月	40日	3	1.3	1	4
8月	93日	3	3.0	3	0
9月	106日	5	3.5	1	1
10月	53日	3	1.7	0	0
11月	30日	1	1.0	1	1
12月	10日	1	0.3	1	2
1月	0日	0	0	2	1
2月	0日	0	0	1	0
3月	17日	2	0.5	0	1
合計	573日			13	13
平均	48日	2	1.6		
前年平均	96日	37	3.1	合計 14	合計 15

【3. 入院時の病名内訳】

	肺炎(誤嚥性含む)	骨折等	その他
H24	18	4	9

【4.入退所状況内訳】

※ H24.4.1～H25.3.1

状況	入苑			退苑		
	在宅	病院	他施設	入院	死亡	他施設
小計	8	4	1	4	8	1
合計	13			13		

- ・新規入苑は13名、退苑は13名でした。
- ・退苑(他施設)は羅臼町の特養への転居です。(地域密着型特養ふくろうの郷)

【5. 入苑者の介護度】

※ 人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介1	5	5	5	5	5	5	5	6	6	6	8	8
介2	10	11	10	10	10	10	9	8	9	10	8	8
介3	6	7	7	6	7	7	8	7	9	8	9	9
介4	14	13	13	14	13	13	14	14	12	14	14	14
介5	19	20	21	22	19	20	20	22	21	20	19	19
平均 介護度	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.5	3.5
前年	3.4	3.4	3.5	3.5	3.5	3.4	3.4	3.4	3.5	3.5	3.6	3.6

- ・年間平均介護度は、男性 4.30 女性 3.50 施設全体 3.58 となっており、H23 年度施設全体 3.46 と比べ若干介護度が上昇しています。

【6. 入苑者の年齢構成】※ 集計日 H25.4.1

	人数	認知
65 未満	2	1
65～69	0	0
70～74	4	2
75～79	6	1
80～84	7	6
85～89	18	10
90～	20	8
合計	57	28

男	平均 年齢	81.8	平均 入苑期間 (ヶ月)	32.3
女		86.9		50.7
計		85.8		46.8

※ **認知**は認知症度がⅢa 以上の利用者

- ・入苑者平均年齢は 85.8 歳で、昨年は 85.9 歳とほぼ横ばい状況。
- ・平均入苑期間では、46.8 ヶ月で 52.0 ヶ月と若干短くなっている。

【7. ADL 状況】 ※ 集計日 H25.4.1

① 食事形態

(主食)

	常食	粥	ミキサー	経腸
人数	26	23	2	7

(副食)

	常食	ざく	刻み	極刻み	ミキサー	経腸
人数	20	10	15	2	4	7

- ・毎月2種類の手作りおやつを行事や誕生会に合わせ提供しています。
- ・寿司の日(手作り)、てんぷら実演。
- ・便が出にくい方対象で玄米食を提供中。(便が出やすくなっている。)

② 入浴の状況

	一般浴	特浴	座浴
人数	15	19	24

③ 移動(歩行)の状態

	自立	歩行器	車イス	リクライニング
人数	7	9	36	6

【8. 家族等の面会状況】

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
157	85	156	140	183	133	210	144	139	90	0	98	1,535

【9. 会議・委員会等の運営状況】

身体拘束廃止推進委員会 (12回実施)	<ul style="list-style-type: none"> ・各フロア別に身体拘束を行っている入苑者の記録と評価を行う。また、身体拘束解除に向けた取り組みを行う。 ・身体拘束に繋がりそうな入苑者に対して、対応策を検討、実施する。 ・職員に身体拘束に対する研修(勉強会)を行う。
-------------------------------	--

事故防止対策委員会 (12回実施)	<ul style="list-style-type: none"> ・各フロア別に施設内の事故報告について個別対策を検討し。 ・ヒヤリハット報告について各フロア毎に統計をとる。 ・個別に対応した事故報告について、対応を再確認する。 ・事故報告書の書式の変更。
感染症対策委員会 (12回実施)	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内点検及び換気扇、入浴設備の清掃。 ・食中毒、ノロウイルス等の感染症に対する職員研修。 ・入苑者、利用者、職員の健康状態の確認。 ・衛生関係備品の確認、準備、指導。
排泄委員会 (12回実施)	<ul style="list-style-type: none"> ・個人別の排泄状況の確認。(使用オムツ等の把握も含む) ・おむつゼロに向けての取り組み計画、実施、状況確認。 ・排泄関係の職員研修。
行事企画委員会 (12回実施)	<ul style="list-style-type: none"> ・特養年間行事の立案、準備、実施。 ・遊びり(ゲーム等)、誕生会喫茶、桜見学、ビデオ上映、居酒屋、避難訓練(図面上の避難訓練も含む)、母の日、父の日、野外食、踊り見学、バスハイク、お盆法要、夏祭り、水きらりパレード見学、標津神社祭見学、敬老会、運動会、芋煮会、文化祭見学、けん玉ショー、紅葉見学(食堂で昼食)、バラエティーショー見学、クリスマス会、餅つき、豆まき等。
研修委員会 (12回実施)	<ul style="list-style-type: none"> ・法人内の各研修立案、準備、実施。 ・内部研修(13回) ・外部研修(38回) ※札幌、帯広、釧路、根室、中標津等 ・普通救命講習会、HIV・AIDS研修会等。
責任者会議 (12回実施)	<ul style="list-style-type: none"> ・諸連絡、調整等。
職員(全体)会議 (3回実施)	<ul style="list-style-type: none"> ・H23年度決算報告、H24年度代予算について。 ・介護情勢報告等。
主任会議 (12回実施)	<ul style="list-style-type: none"> ・フロア主任3名による意見統一、ケア方法や職員対応等の確認。
フロアミーティング (12回実施)	<ul style="list-style-type: none"> ・各フロア別によるケアの確認、調整。
ケアカンファレンス (12回実施)	<ul style="list-style-type: none"> ・特養の個別介護計画の検討。
介護士会議 (12回実施)	<ul style="list-style-type: none"> ・特養ケアに対するケア方法の確認統一。

医療的ケア対策推進委員会 (12回実施)	・喀痰吸引の実施状況、事故報告の確認。
その他	新人職員研修 入所優先度判定委員会 (12回) 地域ケア会議 (12回)

【10. 援助実施内容】

(1) 生活援助

① 食事の提供と援助

入苑者の食事摂取状況に応じて、食事の見守り、食事介助を行い、誤嚥や嚥下状態の低下傾向にある入苑者については、適切な食形態の提供や、定期的な歯科検診に基づき口腔ケアによる経口摂取の維持に努めた。他、楽しい食事の提供として季節毎の行事食や献立の工夫も継続して行えた。

② 入浴介助

H24年度はゆったりと入浴ができるようにと一般浴(温泉で大きい浴槽)での入浴日を増やして対応しているが、好評である為、今後も継続していく。

また、プライバシーの配慮や丁寧で素早い介助を行って気持ち良い入浴を心がけていく。

③ 排泄介助

「おむつゼロ」への取り組みの一つとして、個々の状況に応じた排泄の見直しを排泄委員会が中心となって取り組んでいる途中の状況。紙オムツを使用していた方が布パンツに替えれたり、紙オムツから尿取りパットへの使用になったり、トイレで座っての排泄ができたりとしており、入苑者にとっても日常が過ごしやすい結果となっている。また、施設費用面でも紙オムツ代の圧縮ができています。

(2) 健康管理

入苑者が心身共に健康で充実した日常生活がおくれるよう、健康管理を関係機関との協議協力のもと行った。

ノロウイルス・インフルエンザ等の感染症流行時期の面会制限等、家族の協力もあり感染者はゼロであった。

- ・入苑者健康診断(1回)
- ・入苑者歯科検診(1回)
- ・職員健康診断(2回)

【11. その他】

H24年度より、組織力強化や情報の共有化が図れる事を目的に組織機構体制を変更して1年間取り組んできたが、特に主任介護士の3人体制等が上手く機能し始め、より細やかな職員間の伝達が行えるようになった。それにより職員の意識も少しずつ変わり始め施設ケア、個別ケアに対して良い方向に向かってきていると思う。

3 標津はまなす苑短期入所生活介護事業所

【 1.利用の状況 】

	延人数 (人)	実人数 (人)	一日平均 利用者数	平均 介護度	稼働 日数	稼働率 (%)
4月	263	30	8.77	2.5	30	97.41
5月	260	33	8.39	2.5	31	93.19
6月	257	29	8.57	2.4	30	95.19
7月	233	32	7.52	2.2	31	83.51
8月	227	26	7.32	1.9	31	81.36
9月	214	24	7.13	1.9	30	79.26
10月	220	26	7.10	2.2	31	78.85
11月	255	24	8.50	2.2	30	94.44
12月	202	21	6.52	2.0	31	72.40
1月	191	26	6.16	2.0	31	68.46
2月	219	25	7.82	2.0	28	86.90
3月	224	24	7.23	2.0	31	80.29
合計	2765				365	
平均	230	27	7.58	2.2		84.27
前年平均	232	33	7.59	2.0		84.38

- ・9ベット+空床(入院者等の空ベット)の利用型
- ・平均稼働率 84.27%であり昨年(H23)の 84.38%と比較しても横ばい状況となっている。今後も各居宅介護支援事業所と連携を密にし、空床とにならないよう利用者数アップに向けて努力していきます。 ※(H22)は 80.96%

4 デイサービスセンター標津はまなす苑

【 1. 利用の状況 】

	延人数 (人)	実人数 (人)	一日平均 利用者数	平均 介護度	稼働 日数	キャン セル	稼働率 (%)
4月	411	73	20.6	1.4	20	32	68.6
5月	427	78	20.3	1.5	21	38	68.0
6月	460	80	21.9	1.4	21	36	73.4
7月	471	80	22.4	1.4	21	36	74.6
8月	489	80	21.3	1.4	23	43	70.9
9月	392	77	20.6	1.4	19	40	69.6
10月	433	75	20.6	1.3	21	51	67.9
11月	423	76	20.1	1.4	21	42	68.7
12月	408	78	21.5	1.5	19	42	72.5
1月	346	77	20.4	1.4	17	61	61.8
2月	432	78	22.7	1.3	19	36	76.6
3月	482	81	24.1	1.3	20	39	79.4
合計	5174				242	496	
平均	431	78	21.4	1.4		41	70.0
前年平均	450	86	22.4	1.4		48	75.0

- ・定員 30 名(予防・要介護複合型) 月～金(週 5 日)の営業。
- ・介護保険の改正により H24. 4 から提供時間が 9:00～16:10 となっている。
- ・稼働率平均が 70. 0%となっており、昨年(H23)の 75. 0%と比較して低下している状況。主な理由として、H22 年位から標津町の介護保険の申請率が増えておらず、デイサービス利用を希望される新規の申込も増えなかった。標津町の要介護者の 1/3 は他のサービスを利用しており、デイサービスの利用はない。また、キャンセル(欠席)の内訳ではショートステイの利用や入院等による欠席が約 4/1 と占めている状況である。
- ・H24 年度後半より利用人数は徐々に回復してきている為、引き続き現利用者の利用回数の増加の促しや、新規利用者獲得の為のアピールを地域へ行っています。また、近隣他町の高齢者のサービス利用状況のリサーチを行い保険者や他施設、ケアマネージャーと密に連携し、必要に応じてサービスの提供を検討していきます。

【 2. 利用者の介護度 】

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
4月	13	11	22	16	5	5	1
5月	14	10	24	17	6	6	1
6月	18	11	23	16	6	5	1
7月	17	11	24	14	8	5	1
8月	17	11	25	14	8	4	1
9月	16	13	22	15	7	3	1
10月	13	13	25	15	6	2	1
11月	17	13	21	13	7	4	1
12月	17	12	20	16	8	4	1
1月	15	13	21	17	7	3	1
2月	17	12	23	16	5	4	1
3月	18	14	22	17	5	4	1

【 3. 地区別集計 】

(H25.3.31 時点)

	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90 以上	計
標津町内	3	3	9	9	21	5	50
川 北	1	5	5	5	9	8	33
古多糠			2		1	7	10
茶志骨(パ)					2	2	4
茶志骨(住)	1		1		1	2	5
薫 別						1	1
忠 類			2	1	1		4
伊茶仁			1	1	2	1	5
合 計	5	8	20	16	37	26	112

5 標津福祉社会居宅介護支援事業所

【 1. 利用の状況 】

	請求 件数	新規者	認知症 Ⅲa 以上	独居高齢 者加算	要介 1	要介 2	要介 3	要介 4	要介 5
4月	19	0	3	3	8	7	1	3	0
5月	20	1	4	3	8	7	2	3	0
6月	20	0	4	3	8	7	2	3	0
7月	20	1	4	3	7	7	2	4	0
8月	22	3	6	4	7	9	2	4	0
9月	18	0	5	2	6	8	2	2	0
10月	20	1	6	2	7	9	2	2	0
11月	22	2	7	2	7	10	2	3	0
12月	21	0	6	2	7	9	2	3	0
1月	19	1	5	3	8	6	2	3	0
2月	21	2	4	3	9	7	2	3	0
3月	21	1	4	3	8	8	2	3	0
合計	243	12	58	33	184	94	23	36	0
平均	20.2	1	4.8	2.7	15.3	7.8	1.9	3	0
前年平均	24.1	0.8	5.4	2.0	6.7	8.5	3.9	4.8	0.1

- ・H24年度の平均請求(介護サービスを利用した方)件数は20.2名となっており、前年に比べ下がっていますが、要因として、標津町自体で新規介護認定者数(要介護1～要介護5)が減少しておりそれに伴い、連動して居宅依頼件数が減少しているものと思われます。また、担当している要介護者の中で施設入所者や死亡者も多かった事も要因の一つとして考えられます。しかし、新規担当件数が毎月平均1名(年間12名)を受け入れており、今後も継続して介護保険新規申込み者の方の居宅担当(居宅介護支援事業所)として受け入れをしていきます。

6 訪問配食事業

【 1. 利用の状況 】

- ・H24年度の配食数は年間604食で、延人数は31人(月平均2.5人)の状況でした。今後についても美味しい、栄養バランスの取れた食事に考慮しながら、健康的な食事を提供していきます。また、配食時には給食サービスの特色を生かし、常に声かけ

をし、利用者の安否や健康状態の把握に努め、必要あるときは、関係機関と密に連絡調整を行い必要な対処ができるよう努めて参ります。

7 訪問入浴介護事業所

【 1. 利用の状況 】

	登録数	稼働 日数	キャン セル	利用 回数	要介1	要介2	要介3	要介4	要介5
4月	2	3	1	6	1	1	0	0	0
5月	2	5	1	9	1	1	0	0	0
6月	2	4	1	7	1	1	0	0	0
7月	2	5	0	10	0	2	0	0	0
8月	2	4	0	8	0	2	0	0	0
9月	2	4	2	6	0	2	0	0	0
10月	2	5	0	10	0	2	0	0	0
11月	2	4	1	7	0	2	0	0	0
12月	3	4	0	11	1	1	0	1	0
1月	3	3	3	6	1	1	0	1	0
2月	4	4	5	7	2	1	0	1	0
3月	2	4	0	8	2	0	0	0	0
合計		49	14	95	9	16	0	3	0
平均	2.3	3.5	1.1	7.9	0.7	1.3	0	0.2	0

- ・昨年は年間で95回の利用があり、月平均で7.9回の利用(1Wに約2名)がありました。
平成25年3月いっばいで事業を標津町と協議の上、終了致しました。